

発刊にあたって



鎌倉は、海と山の美しい自然環境と豊かな歴史的遺産をもつ古都であり、わたくしたち市民のふるさとです。この鎌倉を次代を担う子どもたちへ確実に引き継ぐため、私たちは未来に責任を持って、子どもが元気に育つ、美しい鎌倉の創造に努めなければなりません。

我が国全体が少子高齢・人口減少社会を迎えた今、これまでのような成長が見込めない中では、市民の皆さまとともに積み重ねてきたまちづくりの成果を大切に、新たな視点で見直していくことが、鎌倉の未来につながっていくものと信じております。

そのため、第2期基本計画の策定にあたりましては、市民の皆さまの声をよく聞き、それに応える計画とするため、「明日のかまくらを創る市民100人会議」を設置して、計画づくりの初期の段階から参画していただき、基本計画の素案をご提言いただきました。この提言を踏まえ、まず計画の前提に市民自治と行財政運営を据え、市民参画と協働の推進や地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営の取り組みなど、これからの市政運営の考え方を明らかにしました。

鎌倉が鎌倉らしくあり続けるため、身近なことは地域で解決する市民自治のより一層の推進と、市民の皆さまの参画と協働によって、この第2期基本計画の実現を図ってまいりたいと考えております。

総合計画審議会委員の方々をはじめ、基本計画策定にあたり貴重なご意見をいただいた大勢の市民の皆さまに感謝申し上げます。今後とも円滑な計画の推進に向けて、一層のご指導・ご協力をお願いいたします。

平成18年4月

鎌倉市長

石渡浩一